

DVD解説

【テーマ：しょうがい者】

題 名	保管	概 要
<div style="text-align: right; color: blue; font-weight: bold; border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">new</div> あなたの笑顔が くれたもの ～周りから見えにくい しょうがい・生きづらさ～ (DVD)	人権 37分 2022	主人公の麻友子は、発達障害である幼馴染の紗希、オストメイト（人工肛門保有者）の女子高生・美織、祖母の介護をしている桃田、それぞれ周りからは見えにくい生きづらさを抱えている3人との関わり合いによって、自分の思い込みに気づき、変わる決意をします。 外見で決めつけたり、「しょうがい者」や「ヤングケアラー」などカテゴリーで人を判断したりせず、一人一人が考えや感じ方も違う人間であるということを理解して向き合うことの大切さを学ぶことが教材です。
imagination 想う つながる 一歩ふみだす (字幕・DVD)	人権 34分 2015	ラジオ局で番組パーソナリティを務めるサカカの元には、今夜もリスナーからの相談の便りが届きます。現代社会に悩む様々な人々が番組を軸に心を通わせ、明日へとつながる一歩を見つけていくドラマ教材です。 【収録テーマ】 ・いじめをなくすのはアナタ（子どもの人権） ・「関わらないのが一番」それ本当？（同和問題） ・見えにくいから知ってほしい、発達しょうがいのこと（しょうがい者の人権）
風の匂い (字幕副音声・DVD)	人権 34分 2016	スーパーマーケットで働く青年、歩と正人が主人公です。歩には知的しょうがいがありますが、子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ「大切な友だち」でした。しかし、大人になった2人を隔てる健常者としょうがい者という壁。その壁を作っているのは誰なのか。歩との再会で正人は自分の心と向き合い壁をなくそうと動きだします。社会的な課題「合理的配慮」についても考えていきます。
気づいて一歩ふみだすための 人権シリーズ⑤ お互いの本音が伝わる時 ー障害者ー (DVD)	商工 24分 2018	障害者差別解消法が改正され、平成30年4月1日以降、民間企業ではしょうがいのある人の法定雇用率2.2%以上が義務化されました。各企業・事業所がしょうがいのある人の雇用を進めていく中で、しょうがいのある人を意図せず傷つけたり、対応にとまどったりすることを防ぐため、企業内研修で必要な配慮やしょうがいのある人との心のバリアを取り除くヒントとなる内容が具体的事例として、盛り込まれています。 ①見えない人(視覚障害のある人)に対する配慮とは ②車椅子の人への配慮 ③発達障害のある人とのコミュニケーション ④障害には医学モデルと社会モデルがあること <small>※事例についてはDVDの表記のまま</small>
コスモス 秋桜の咲く日 (字幕副音声・DVD)	人権 34分 2014	人はそれぞれに『違い』があります。その中には『目に見える違い』と『目に見えにくい違い』があげられます。この作品は『目に見えにくい違い』の一つとして発達しょうがいをとりあげています。 主人公のちひろは特別養護老人ホームで働く主任介護士。新しく入った介護士直也を育てるべく奮闘するが、指示が伝わらなかったり、空気の読めない発言をしたりコミュニケーションがとりづらく、ちひろは困惑する。そんなある日事件が起こり、それをきっかけにちひろは直也が「アスペルガー症候群」だと聞かされます。 「違い」を理解し、受け入れ活かしあうことの大切さを考えていきます。
心のバリアフリーを めざして (DVD)	人権 35分 2018	障害者差別解消法に合理的配慮の提供義務が明記されましたが、しょうがいのある人が身近にいないので、どう接すればいいのか分からないという声があります。この教材は、しょうがいについて正しく知ること、必要な配慮について学び、いい距離感のコミュニケーションとはどのようなものかを考える内容になっています。合理的配慮については、事例をあげてわかりやすく説明しています。
<div style="text-align: right; color: blue; font-weight: bold; border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">new</div> シェアしてみたら わかったこと (DVD)	人権 46分 2024	上京して、期待を胸に入居したシェアハウス。そこに暮らしているのは、個性豊かな住人たち…。私が、シェアしてみたらわかったこと ・外国人に関する人権 ・性自認や性的指向に関する人権 ・外から見えにくい障害のある人の人権 ・災害時の人権

DVD解説

【テーマ：しょうがい者】

題 名	保管	概 要
自閉症の子供たち バリアフリーを目指して (DVD)	余呉 30分 2006	このビデオは自閉症というしょうがいについて多くの方に知っていただきたいと考え制作しています。保護者の方のご理解をいただき、自閉症の子供たちの実際の映像を使っています。
知りたいあなたのこと ～視覚障がい者の生活・ 気持ち～ (DVD)	人権 21分 2021	目が見えないということを、私たちはどこまで想像できているのでしょうか？視覚に障がいを持つ方々は、いろんな場面で危険や不安をかんじながら生活を送っています。この作品では、3人の全盲の方と一人の弱視の方に取材しました。一体どんな場面で困っているのか、どんなは今が求められるているのか。今作、視覚に障がいを持つ方々の話を通して、私たちにできる配慮を共に考えてゆく内容です。
知りたいあなたのこと ～外見からはわからない 障害・病気を抱える人～ (DVD)	人権 21分 2019	外見からはわからない障害や病気を抱えながら日常生活を送っている人は多くいます。一見すると健康そうに見えるので、障害や病気が周囲に理解されず、辛い思いをすることもあるといいます。この作品では2人の難病患者さんと、てんかんと発達障害をもつ大学生を取材しました。どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのか。外見からはわからない障害や病気を抱える人の話を通して、私たちにできる配慮を共に考えてゆく内容です。
障害のある人と人権 (DVD)	人権 32分 2018	ユニバーサル社会とは、しょうがいの有無にかかわらず、女性も男性も、高齢者も若者も、全ての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、支えあい、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる社会のことです。 しょうがいのある人もない人も誰もが住みよいユニバーサル社会をつくるためにはどうしたら良いのでしょうか。 このDVDでは、しょうがいのある人が直面する人権問題やその問題を解決するための取組などを具体的に紹介し、「しょうがいのある人と人権」について考えていきます。
小学生のための人権① 思いこみに気づく (字幕副音声・DVD)	人権 14分 2012	この作品は、ホームレスの人や身体にしょうがいのある人の暮らしの様子などを通して、わたしたちが日常生活の中で抱えている様々な思い込みについて考えるとともに、違いを受け入れることの大切さについて学びます。 小学生高学年を対象に作られたものですが、大人を対象にした学習会でも十分にご利用いただけます。 
日常の人権 II ～気づきから行動へ～ (DVD)	人権 23分 2009	日常生活の中でいつの間にか身につけてしまった差別や偏見。今一度それを見直してみませんか。人が人として大切にされる権利、人権を考えることなくよりよい社会を作ることではできません。人権感覚に疎い人の言葉や態度が差別を生みます。そして人権を侵害されて苦しんでいる人の心の痛みを分かろうとしないことで、新たな人権侵害が起こります。まず身近な問題から人権について考える作品です。この作品は「外国人の人権」「しょうがい者の人権」「部落差別」「インターネットでの人権侵害」についてドラマとドキュメンタリーにより構成されています。まず、ドラマパートでテーマごとに、日常にある偏見について気づきを促します。そして、どのような考え方や行動が、偏見をなくし、ともに生きるよりよい社会へ変えていけるかを考えていくきっかけになる作品です。
共に働くための合理的配慮 (DVD)	商工 24分 2019	障害に関係なく、誰もが社会参加できる『共生社会』の実現を目指すため、合理的配慮について学んでゆく必要がある。特に障害別にその障害の特性と合理的配慮の具体例とを紹介していることや、障害者雇用に積極的に取り組んでおられる企業の合理的配慮の実践例を見ることで、合理的配慮の考え方や進め方の参考として深く学んでいくことができる。